

# 「芸術文化による社会支援助成」活動報告会 第4回

## 環境整備とクリエイション

### ～バリアフリー鑑賞の推進からその先へ

アーツカウンシル東京では、障害者をはじめ、高齢者や子供、外国人といった、さまざまな人々と芸術文化をつなぐ活動や芸術文化を通じて社会課題に向き合う活動を支援する「芸術文化による社会支援助成」を、平成27（2015）年度に開始いたしました。さまざまな社会環境にある人が共に参加し、個性を尊重し合いながら創造性を発揮することのできる芸術活動や、芸術文化の特性を活かし社会や都市のさまざまな課題に取り組む活動、社会における芸術文化の新たな意義を提起し、あらゆる人に開かれた芸術のあり方を推進する先駆的な活動を支援してきました。



本助成の対象となった活動を紹介する第4回目報告会では、北区東田端で障害等にかかわらず誰もが楽しめるユニバーサル上映を行う映画館「シネマ・チュプキ・タバタ」を運営する合同会社チュプキと、宮澤賢治作品の朗読劇の上演を軸としながら、視覚障害者のための音声ガイドの普及や、視覚障害や聴覚障害などさまざまな個性を持つアーティストとの表現活動に取り組む、ものがたりグループ☆ポランの会にご登壇いただきます。両団体の報告を通して、バリアフリー鑑賞推進の意義や、そこから生まれる新たなクリエイションの可能性について、改めて考える機会とするとともに、後半のラウンドテーブルでは、参加者の皆さんも交えて意見交換を行い、団体・個人間のネットワークが構築されることを目指します。

#### ◆ 登壇団体 ◆

#### 合同会社Chupki 登壇者：平塚千穂子（合同会社Chupki 代表）

2001年より視覚障害者の映画鑑賞環境づくりを続けているバリアフリー映画鑑賞推進団体City Lightsが2016年に募金を集めて設立した映画館。視覚障害者のみならず、聴覚障害者、発達障害者、車椅子利用者、小さなお子様連れのお客様など、様々な障害を持つ人が安心して映画を鑑賞できる環境を提供する日本初のユニバーサルシアター。映画の音声ガイドや日本語字幕を制作し、毎日ユニバーサル上映を実施。

採択事業：

- ・平成31年度第1期「映画音声ガイド制作者の人材育成と鑑賞ツールとしての可能性を広げる研究」
- ・令和2年度第2期「バリアフリー上映推進のためのアーカイブ構築とシンポジウムの開催」



#### ものがたりグループ☆ポランの会

登壇者：彩木香里（ポランの会 代表）、石神哲朗（ポランの会 劇団員）

2004年創立。「生きる」をテーマに宮澤賢治作品のみを上演。2021年イーハトーブ賞奨励賞受賞。舞台の音声ガイド制作、鑑賞サポートに携わる。2020年より字幕映像制作や手話パフォーマーとともに創り上げる公演を行っている。

採択事業：

- ・令和3年度第1期「朗読とバイオリンのライブセッション」



日時：2023年7月14日(金) 18:30～21:00 場所：アーツカウンシル東京 5階会議室

料金：参加無料

東京都千代田区九段北4丁目1-28 九段ファーストプレイス5階

定員：40名（事前予約制／先着順）

#### 申込方法

手話通訳・UDトークによる情報保障あり

ファシリテーター：小川智紀

グラフィックファシリテーター：関美穂子

手話通訳：加藤裕子、瀬戸口裕子

QRコードより必要情報をご記入の上、お申込みください。

<https://ws.formzu.net/fgen/S731969403/>

申込締切：2023年7月14日（金）12:00

※定員になり次第受付を終了いたします。



主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

問合せ：「芸術文化による社会支援助成活動報告会」

運営担当（合同会社syuzgen）

E-mail：act\_ss@syuzgen.com FAX：03-4333-0878

※本報告会は主催者の広報及び記録目的に写真・音声・動画の収録を行います。記録映像のアーカイブ公開はありません。※本報告会後レポート記事等をアーツカウンシル東京のウェブサイト等で公開します。

